

研 究 所 だ よ り

第1号



= 表紙 ふれあい教室(社会見学) =

～目 次～

所長あいさつ.....	1
教育研究所基本方針, 運営委員等.....	2
第1回連携教育研究会.....	3
若年教員・臨時的任用教員研修会.....	4
教育支援センター.....	5
【リレー寄稿】 安芸市教育研究所運営委員長(吉岡欣一郎).....	8

学校・家庭への支援や連携を

大切にする教育研究所を目指して

青田を渡る風も快い季節を迎えました。皆様方におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。日頃は、安芸市教育研究所の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年度は、安芸市2校の中学校が統合され、新設の安芸中学校が開校しました。新しい安芸中学校には、旧安芸中学校と清水ケ丘中学校の歴史と伝統を受け継ぎ、学校教育目標「未来を拓く、やさしさとたくましさをもった生徒の育成」のもと、文武両道を合言葉に東部随一の中学校となられるよう期待をしております。

また、安芸市内の各小学校におきましては、新たな教育目標や研究テーマのもと、学校独自の特色ある取組が既に行われていることと存じます。

安芸市教育研究所としましては、学校やご家庭に少しでも協力・支援ができますように、今年度も【教育研究の充実（研究協力校・グループ研究）】や【教育支援センター（ふれあい教室）の開設】等を通じて、各学校・各家庭と連携を図りながら取組を進めてまいりたいと思います。

特に学校での研究推進に対しましては、研究所の職員が直接学校現場の研修に参加をさせていただき、そこでの学びを安芸市全体の学校に広く啓発していくなど、教育実践に役立つ研究支援ができるよう努めてまいります。

今年度も本研究所の活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

安芸市教育研究所 安養寺 仁

今年度の職員

本年度、研究所では小松 高寿が着任しました。ふれあい教室は3名の指導員及び1名の支援員と、アウトリーチ型スクールカウンセラー 田野 淳平が配置となりました。どうかよろしくお願いします。



(指導員 安岡 雄三) (指導員 小松 郁子)
(指導員 野村 武志) (運転兼支援員 岡田 勝)



(所長 安養寺 仁)
(研究主任 小松 菜穂子) (研究員 小松 高寿)



(OR型スクールカウンセラー 田野 淳平)

安芸市教育研究所 |||||

各学校のご協力のもと、研究所の体制が整いスタートしました。今年度も各校と連携を図りながら本市の教育向上に向けた取組をしていきますので、よろしくお願いします。

1. 基本方針

安芸市の教育上の諸課題の解決と本市教育の振興を図ることを目指し、以下を基本方針とします。

- (1) 教育現場の実践を尊重し、密接な連携を保ちながら、教育研究所の業務達成に努めます。
- (2) 教育研究機関としての研究の自由と主体性を堅持し、調査・研究・研修等の助成に努めます。
- (3) 教育全般の質的向上を図る機関としての役割を踏まえ、学校教育・家庭教育・社会教育・人権教育・幼児教育等、生涯学習構想の中で教育の向上に努めます。

2. 具体的方策

(1) 研究協力校・グループ研究

・研究協力校

教育の各分野における先進的な研究に取り組む。

学 校 名	研 究 主 題
赤野小学校	主体的・対話的で深い学びを生み出す複式授業 ～数学的活動を通して自分の考えを出し合える授業の創造～
穴内小学校	確かな学びの定着を図る ～自ら学ぶ力を育む、少人数・複式学級における学習指導のあり方～
川北小学校	だれもが生き生きと活躍できる集団の育成と授業づくり ～互いに認め合い、学び合うことができる授業を通して～
土居小学校	「自分から考え、生き生きと表現する児童の育成 ～友達とのかかわりを通して～」
井ノ口小学校	豊かな表現力の育成と主体的な学びの実現

3. 教育研究所運営委員 (◎は委員長)

氏 名	職 名	所 属	氏 名	職 名	所 属
◎吉 岡 欣一郎	学識経験者		山 寄 秀 忠	教 頭	安芸第一小学校
竹 崎 義 秀	学識経験者		長 田 純 彦	教 頭	穴内小学校
松 浦 澄 夫	校 長	安芸中学校	門 田 武	教 諭	安芸中学校
小 松 良 浩	校 長	土居小学校	大 石 ひとみ	教 諭	井ノ口小学校

4. 教育支援センター運営委員会 (◎は委員長)

氏 名	職 名	所 属	氏 名	職 名	所 属
◎中 島 登喜雄	校 長	穴内小学校	片 平 綾 穂	養護教諭	安芸第一小学校
竹 田 和 子	教 頭	井ノ口小学校	江 原 理 穂	養護講師	赤野小学校
中 山 美 里	養護教諭	土居小学校	小 松 加 奈	教 諭	土居小学校
垣 上 泰 子	養護講師	伊尾木小学校	横 田 佳 憲	教 諭	川北小学校
武 井 典 子	教 諭	下山小学校	西 岡 利 紗	養護教諭	安芸中学校



第1回連携教育研究会

5月17日（金）第1回安芸市連携教育研究会が開催されました。新しい校舎の安芸中学校で、初めての会となりました。安芸中学校の授業を公開していただき、各小学校の先生方が熱心に参観していました。2校が統合となり、どのような雰囲気の中で学校生活を過ごしているか初めて見ることができました。公開授業、全体会、部会、個別の情報交換などを通して、教科・領域を含めた大きな連携から子ども一人一人に目を向けた細かい連携まで教職員一丸となって取り組みがなされます。

全体会

安芸中学校松浦澄夫校長挨拶

安芸中学校が掲げる4つの目指す生徒像

- ◆自分や仲間、すべての人を大切にする生徒
- ◆広い視野をもち、自ら判断し行動する生徒
- ◆目標をもち、粘り強く挑戦する生徒
- ◆ふるさとを愛し、誇れる生徒

「目指す生徒像アンケート」の結果より

“学校や学級が楽しい”の項目において肯定的評価が90%以上であり、1年生のみならず2,3年生についても新しい学校へ入学したような感じなのだろうか。がんばりたいという気持ちの表れではないか、この気持ちをどこまで持続させていくことができるか私たち教員が試されている。また、郷土愛の項目でも肯定的評価が高く、授業と関連させながら、安芸市に貢献できる生徒を育てていきたい。



部会

部会では、昨年度まとめの次年度に向けた振り返りなども参考にしながら、今年度の部会の中心となる具体的な取り組み内容や年間計画について話し合われました。（今年度の各部会取組内容は下に記載）

個別の情報交換

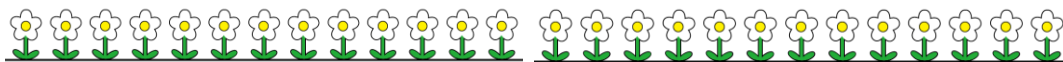
本連携教育研究会は、小中学校の引継ぎまたは情報交換も大切にしています。全体会の中で1年学年主任より新入生の様子を聞き、部会終了後には各小学校の先生が中1担任との個別の情報交換の時間を持ちました。入学後の様子を聞くとともに、気になることについても話し合うことができました。

部 会 名	取 組 内 容
授業づくり部会	表現力を高める取り組み
基礎学力部会	D層の割合を減らす ～帯タイム、加力学習、家庭学習、無料塾等各校の取り組みを生かして～
児童生徒理解部会	中学校の目指す生徒像に向けて講師招聘・実践交流をする
生き方部会	ふるさとを愛し、誇れる児童生徒の育成 ～地域を知る活動を通して～
体力の向上部会	・柔軟性を高める運動の研修 ・リズムジャンプを取り入れた準備運動の研究
基本的な生活習慣部会	生活リズムの取り組みの継続。生活リズムチェックの分析結果を共有
ICTのよりよい活用 部会	効果的な使い方を研究する。（各教科でどのような効果が出たのかを検証していく。）※無料のアプリのリンク集を作成する。※持ち帰りについて考える。

若年教員・臨時的任用教員研修会

5月24日に若年教員・臨時的任用教員研修会が行われ、7名の先生方の参加をいただきました。講師であるふれあい教室指導員 安岡雄三先生は、教員をしていた時に自分自身が学級経営で大切にしていたことを、コマ回しやマジックを交えながら、ユーモアたっぷりに伝えてくれました。安岡先生のお話を聞いた後は、「難しく考えなくてもいい、少し意識を変えるだけ」と、すぐに学級で実践できそうなことばかりでした。短い時間でしたが、やる気と元気をたくさんいただきました。

【講話より】



- ・教師は、子どもの才能や能力を引き出し、どう導いていくかが仕事である。
- ・先生は、パフォーマンス力が必要。小さな事でもよく褒める。授業でいいことを言うと大げさに褒める。
- ・100マス計算を毎日継続して取り組んでいる。2分間は、鉛筆の音しか聞こえない。このように集中する時間を積み重ねていくうちに、よけいな言葉を発さなくなる。ここから学級集団作りが始まる。高等な技術はいらない。
- ・何でもいいから毎日やることを1つ決める。それを徹底して取り組むと子ども達に信頼してもらえるようになる。
- ・子どもは、遊んでくれる、話を聞いてくれる、優しい先生が好き。でも、子ども達は怒ってくれる先生も否定しない。優しくて厳しい先生を望んでいるのである。



【参加者アンケートより】

教員になる前は、子どもの成長を子どもと一緒に喜べる先生になりたいと思っていましたが、実際は、よくないところばかり目についてしまい、叱ってばかりだなと思い返したので、もっと子どもと向き合い、子どもと一緒に成長を喜んでやさしく、きびしい先生になりたいと思いました。

色々なためになるお話でとても参考になりました。子どもの良い所をたくさん見つけて、ほめ、子どもに先生に認めてもらえたという感覚を知ってもらうために私も今後、子どもの変化を見逃さず、認めてあげたいと思いました。子ども同士のつながりを大事にできるような活動をたくさん取り入れていきたいです。

学級経営について難しく考えすぎなくてもいいのだけれど今回のお話をきいて感じました。話し合い、助け合い、教え合いという子ども達主体の学級を目指して、まずは先生が子ども達を仲良く、明るく、楽しくをモットーに生きていきたいと思いました。マジックとてもすごかったです。ぜひ教えていただきたいです。ありがとうございました。

雄三先生のお話が聞けて楽しかったです！ぜひ、1年生にコマ回しを教えていただいたり、手品を見せていただきたいです。

雄三先生のような楽しい話、楽しい授業を目指していきたいです。ありがとうございました。

安岡先生が教員時代に意識していたことが大切だと感じました。教員は子どもの見本となるような行動をしなければいけないと分かりました。そのためにも、子どもと同じタイミングで目標をつくったり、頑張って物事に取り組んでいる姿をあえて見せることも大切だと感じました。私自身遊ぶことが好きで、昼休みに遊ぶようにしているので、継続していきたいと思いました。

安岡先生の教師をされていたときに毎日通信を発行していたお話を聞いたときに、私も何かひとつできることを見つけて実践したいと思いました。不登校児童はもちろん全ての児童にやさしくきびしい先生になれるよう今後も勉強し続けていきます。

安芸市教育支援センター



令和6年度 教育支援センター 運営方針

- ◎教育支援センター「ふれあい教室」に通室する児童生徒の実態に即した適切な支援と指導を行い、学校と家庭との連携を図る中で、学校生活への復帰や将来の社会的自立の基盤づくりを目指す。
- ◎安芸市の不登校児童生徒の実態把握・情報交換に努め、学校や保護者からの不登校児童生徒に関する相談を受け、支援ができるような体制づくりを強化する。

ふれあい教室について



1. 概要



施設：〒784-0271 安芸市奈比賀中角 950
川北小学校 奈比賀分校(現在、休校中)

【ふれあい教室】電話・FAX 兼用(0887) 34-4624

目的：学校と家庭との連携の中で不登校の児童生徒の実態に即して適切な支援と指導を行い、学校生活への復帰や社会的自立を図ることを目的とする。

指導体制：ふれあい教室指導員3名, 運転手兼支援員1名
OR型スクールカウンセラー1名
教育研究所研究員1名

2. 一日の流れ

< 月・火・木・金 >			
8:30	安芸市役所バス出発	朝の会…詩, 間違い探し, ことわざ・百マス計算	
9:00	奈比賀・着		
9:30	朝の会		
10:00~10:30	作業	< 水 > 昼休みまでは 同じ流れ ※掃除なし 13:00 自由活動 13:20 帰りの会 13:30 下校・バス出発 13:50 安芸市役所着	
10:45~11:15	学習・活動		
11:20~11:50	学習・活動		
12:00~13:00	昼食・昼休み		
13:00~13:30	掃除・読書		
13:30~14:00	学習・活動		
14:00~14:20	運動など		
14:20~	帰りの会		
14:30~	下校・バス出発		
14:50	安芸市役所着		

〈ふれあい教室のメンバー〉

安岡 雄三(指導員) 田野 淳平 (OR型スクールカウンセラー)
小松 郁子(指導員) 野村 武志 (指導員)
岡田 勝 (運転手兼支援員) 小松 高寿 (教育研究所)

3. 活動内容

特別な行事の日以外は、前日の帰りの会や当日の朝の会でその日の時間割を決める。

＜内容＞

- 学 習 (教科学習, 防災学習など)
- 内 活 動 (読書, ミシン, 折り紙, パソコンなど)
- 外 活 動 (散歩, 川遊びなど)
- 体 育 (バドミントン, ビーチバレー, 野球, ボウリング, 一輪車など)
- 体験活動 (調理実習, 販売学習, 畑作業, 柚子の収穫・搾り, 釣りなど)
- 校外活動 (遠足, 社会見学など)
- 季節の行事 (七夕, 収穫祭, クリスマス, 餅つきなど)
- 地域の行事 (10円カフェ, 奈比賀地区運動会など)
- そ の 他 (始業式, 終業式, 参観日, 身体測定, 合同誕生会など)



その他(不登校予防)の活動

- (1) 長期欠席児童生徒実態調査…年4回(4月末, 7月末, 12 月末, 3月末)実施する。
- (2) 毎月の学校訪問…教育支援センターより, 市内の小・中学校を訪問し, 情報交換を行う。
- (3) 安芸市教育支援センター運営委員会の開催…6月6日(木)に第1回教育支援センター運営委員会を安芸市役所第7会議室で行いました。本年度も各校1名の運営委員さんに参加していただき, 年間4回の運営委員会を開催します。情報交流をする中で, 不登校児童生徒の支援の方法を共に考えていきたいと思います。また, 講師を招いての講演会を行い, 学習の場にもしていきたいと思います。運営委員の皆様, 1年間よろしくお願いします。
- (4) 研究員の各種研修会等への参加



(5) 野生塾

第1回 流しそうめんを食べよう	7月6日(土)	第5回 土佐風をつくろう	1月18日(土)
第2回 ナンを焼いて カレーを食べよう	9月28日(土)	第6回 そして、飛ばそう	1月26日(日)
第3回 タイの文化と料理	10月19日(土)	第7回 みんなで、お餅つき	2月15日(土)
第4回 バウムクーヘンを 作ろう	11月30日(土)		



ふれあい教室(4月・5月)



【筍掘り・カレーづくり】

ふれあい教室の活動がスタートし、4月10日に筍掘りをしました。筍掘りが初めての子どもや先生もいましたが、みんなで協力して掘り、そして筍の皮をはいたり、湯がいたりなど、いろいろな体験ができた1日でした。

また、18日にはカレーづくりを行い、ご飯を炊いたり、玉ねぎやにんじんなどの野菜を切る、炒めるなど役割分担をして作りました。



【春の遠足】

5月10日に室戸方面へ遠足に行きました。午前中は、むろと廃校水族館や室戸世界ジオパークセンターの見学へ行きました。昼頃から室戸広域公園で活動しました。水族館にいるいろいろな魚を見て、「すごーい!」「大きい!」と興味をもって見学していました。公園ではみんなで楽しく遊び、充実した1日となりました。



【日々の活動】

ふれあい教室では、毎朝の活動でことわざ、間違い探し、百マス計算に取り組んでいます。ことわざは言葉を覚えるだけでなく、どういう意味なのかも理解しています。また百マス計算も毎日続けることで計算力が身に付くだけでなく、計算するスピードも格段に速くなります。



自分の時代とは違うと思うけれども…？

安芸市教育研究所運営委員長

吉岡 欣一郎

昨今、教育界の大変さが取り上げられることも多く、それもあってか教員不足なども含め課題が多くみられるようになってきたように思います。そんな課題の中でも、若年教員の増加と共に、途中で退職する者や心身の不調を訴え休んでしまう教員も少なくないということを耳にするようになってきました。

これらは一体何が要因なのでしょう。児童・生徒に対する指導・対応の多様化などによる大変さがその一因となっているのでしょうか。それとも、例えば小学校での英語教育、道徳教育、ICTへの対応など、新たな教科・分野への対応が増えたことの難しさなのか、また中学校でのクラブ活動の指導なども含めた業務の多忙が一つの要因となっているのでしょうか。

そんな業務の大変さを解消する取組として『働き方改革』も行われています。『出退勤のチェック』などによる勤務時間の軽減などに向けた取組もされています。それは先生方の心身の健康を守るためにもそれは大切なことではあるとは思いますが。

ただ、年寄りの私としては、「自分たちが若いときには…」といてしまいたくなります。こういってしまうと「所詮昔のことで、今とは違うので…」といわれてしまわれそうですが…。わたしは、遅くまで残ることも悪いことばかりではなく、自分が教師として成長していくためにプラスとなっていたこともあったことを思い出すのです。

放課後の職員室で、同じ若年の先生や先輩の先生などに子どものことや指導の悩みを話すことで、共感してもらえたり違う考えやアドバイスが聞けたりすることで少し安心し楽になったりしたものでした。また、同僚に「今日ご飯食べに行くかえ？」とか、先輩や教頭さんに「今度の金曜日に飲みに行くか？」と誘ってもらえたことが気分転換になったり、話したことで悩みが少し楽になるということもありました。

そのこともあってなのか、管理職になった自分が意識したことは、決まった曜日にレク的なこと（運動等）をして少しでも気分転換させようと考えたり、みんなのしんどさに気づいた先生のアドバイスから『飲み会』を設定するなどして少しでもみんなが気分転換できればと考えていました。（自分がそんなことが好きだっただけなのかもしれませんが…）

今先生方は、多分若年・ベテランに関わらず、職員室に下りて来る余裕や話をしよう、聞いてもらおうというような気持ちさえ持てない状態なのではないでしょうか。（わたしのように不真面目なところがあればいいのですけど…）。だからこそ、そんな時に声をかけてくれる人がいたり、話しやすい雰囲気づくりをしてくれる人がいるなど、誰かのちょっとした声がけ、力添えがあれば少しは良い変化が生まれるのでは…？

「そんなことで変わるはずもない」と一蹴されてしまうかもしれませんが、そんなことを考えながら、今の大変な教育界の更なる進展をいつも願っています。（時代遅れの元教師の戯言でした）